

## 本プロポーザルにおける評価方法の基本的な考え方（案）

本庁舎等整備基本構想（P46）では、設計者選定において、『透明性、公開性に配慮したプロポーザルの企画検討を行うこととする。』と記載されています。

本庁舎等整備の特性を考慮し、透明性、公開性を持った設計者選定プロポーザルにおける評価のために、評価方法の比較・検討を下記に示します。

### ■ 評価方法決定のプロセス

一次審査、二次審査を下記のプロセスに沿って、審査委員会にて審議し決定していただきます。

#### 1. 一次審査について

- 1) 一次審査評価方法の決定（評価採点方式、投票方式、合議方式などの選定）
- 2) 一次審査通過者数の決定（※ 第 2 回審査委員会決定事項）
- 3) 一次審査提案テーマの決定（※ 第 2 回審査委員会決定事項）
- 4) 一次審査配点の考え方及び配点の決定
- 5) 一次審査結果の公表方法の決定（※ 第 2 回審査委員会決定事項）

#### 2. 二次審査について

- 1) 二次審査評価方法の決定（評価採点方式、投票方式、合議方式などの選定）
- 2) 公開プレゼンテーション及びヒアリングについて
- 3) 最優秀者と次点者の選定方法の決定
- 4) 二次審査提案テーマの決定（※ 第 2 回審査委員会決定事項）
- 5) 二次応募案に対する事前質疑の検討
- 6) 二次審査配点の考え方及び配点の決定
- 7) 二次審査結果の公表方法の決定（※ 第 2 回審査委員会決定事項）

---

### 1. 一次審査について

#### 1) 評価方法の比較・検討

一次審査通過者選定に関し、下記に示す評価方法（評価採点方式、投票方式、合議方式）について比較・検討いたします。

本プロポーザルにおいては、一次審査応募資料において、配置技術者の資格、実績及び一次技術提案を求めることを前提として、その評価手法について次ページに検討いたします。

## **A：評価採点方式** – 各審査委員が評価項目により採点し、それを集計して順位付けする方式

- ・あらかじめ設定された配点により一次技術提案書を評価項目毎に採点。  
(各審査委員が各応募案を個別に採点。配置技術者の実績、資格は事務局にて定量評価)
  - ・評価点の積上げが総合的な評価となるよう、公募開始前に評価の対象となる提案を求める課題とその評価の重み付けを委員会で決定しておく。
  - ・点数による定量的な評価であり、第三者への説明に適している。
- ※ 過去の庁舎建設設計プロポーザルでは最も多い方式と思われる。

【事例】 川崎市庁舎、市川市新庁舎、千葉市市庁舎、新発田市新庁舎など（合計点方式）  
清瀬市新庁舎（配点は非公表）

### ■ 評価採点方式における順位付けの方法（次ページにシミュレーションを示します）

- 1) 合計方式 – 各委員の応募者毎の評価点を合計。合計点の高い応募者から順位付けし、一次審査通過者数を選定する
  - ・事例としては最も多いと考えられる順位付けの方法
- 2) 順位付け方式 – 評価点が高い順に各委員が順位付け。平均順位の高い応募者から順位付け
  - ・事例は少ない。

## **B：投票方式** – 各審査委員の投票により順位付けする方式

- ・各審査委員の持ち点による投票
- ・最も票を獲得した提案を1位、次に多い提案を2位とするなどの順位付けによる。
- ・1位にのみ1票を投票する方式や1位に3票、2位に2票などのバリエーションがある

【事例】 府中市新庁舎

## **C：合議方式** – 審査委員会での各審査委員の意見交換、合意形成により順位付けする方式

- ・審査委員会による議論・協議を以て、審査委員の合意形成により各提案の順位付けをする方式
- ・合意形成に相当の時間を要する可能性がある。
- ・「評価の透明性」と言う点で選定プロセスに懸念を持たれる可能性があり、説明責任を果たすための情報開示等が重要となる。

【事例】 調査中であるが、多くはないと思われる。

事務局としては、『透明性・公開性』の視点から、定量的な結論を導き出せ、第三者への説明性にも優れている、「**A：評価採点方式**」が望ましいと考えます。（2月12日時点）

また、その順位付けの方法としては、各審査委員の評価点合計で順位付けを行う合計方式が望ましいと考えます。その理由として、点数で可視化されるため評価の差がわかり易いこと、過去のプロポーザルにおける評価方法としては多い方式であることと考えています。

<参考> 評価方式のシミュレーション例 ※ あくまでシミュレーションのパターンを示すため5者にて比較しています。

<各評価方法のイメージ>

A-1) 評価採点方式 (合計点による順位付け)

	企業①	企業②	企業③	企業④	企業⑤
委員 A	100	90	80	70	60
委員 B	100	95	80	75	90
委員 C	100	95	80	60	90
委員 D	85	80	75	60	90
委員 E	70	80	90	100	60
委員 F	70	80	85	60	95
委員 G	70	90	80	60	95
合計	595	610	570	485	580
順位	2位	1位	4位	5位	3位

1) 合計点方式と2) 平均順位方式では、ここに示したように、各委員の評価点と同じでも順位が変わる可能性があります。

A-2) 評価採点方式 (平均順位による順位付け)

	企業①	企業②	企業③	企業④	企業⑤
委員 A	100	90	80	70	60
順位	1	2	3	4	5
委員 B	100	95	80	75	90
順位	1	2	4	5	3
委員 C	100	95	80	60	90
順位	1	3	4	5	2
委員 D	85	80	75	60	90
順位	2	3	4	5	1
委員 E	70	80	90	100	60
順位	4	3	2	1	5
委員 F	70	80	85	60	95
順位	4	3	2	5	1
委員 G	70	90	80	60	95
順位	4	2	3	5	1
合計	595	610	570	485	580
順位平均	2.429	2.571	3.143	4.286	2.571
順位	1位	2位	4位	5位	2位

参考：B) 投票方式の場合

	企業①	企業②	企業③	企業④	企業⑤
委員 A	1位	2位			
委員 B	1位	2位			
委員 C	1位	2位			
委員 D	2位				1位
委員 E			2位	1位	
委員 F			2位		1位
委員 G		2位			1位
1位の数	3	0	0	1	3
2位の数	1	4	2	0	0
順位	1位	3位	4位	5位	2位

※ 1位と2位に投票し、1位の数が多企業が1位  
同点の場合は、その同点者のみで再投票

	企業①	企業②	企業③	企業④	企業⑤
委員 A	3	2	1		
委員 B	3	2			1
委員 C	3	2			1
委員 D	2	1			3
委員 E		1	2	3	
委員 F		1	2		3
委員 G		2	1		3
得票数計	11	11	6	3	11
順位	1位	1位	4位	5位	1位

※ 持ち点 6点を1位に3点、2位に2点 3位に1点で配分  
同点の場合は、その同点者のみで再投票

■ 採点の流れ

各審査委員が一次技術提案書評価点を採点した結果と事務局が定量的に集計した資格、実績評価点を合計し、各応募案の評価点を算定します。各審査委員の採点は下記の流れで行います。

第4回審査委員会まで

- ・ 一次技術提案書（応募者名は伏せた状態）及び仮採点表を事務局から各審査委員に配布
- ・ 各審査委員による一次技術提案書読み込み
- ・ 事務局が整理した資格、実績の定量評価結果を各審査委員へ配布（応募者名は伏せた状態）
- ・ 各審査委員による評価、仮採点（任意） ※仮採点表は事務局への提出は不要

第4回審査委員会（非公開）にて

- ・ 第4回審査委員会での意見交換
- ・ 各審査委員による一次技術提案書の正式評価、採点
- ・ 採点表の事務局への提出
- ・ 事務局にて、一次技術提案の評価点と資格、実績の評価点を集計し、結果を審査委員会に報告（第4回委員会開催中）
- ・ 集計結果を審査委員会で確認し、評価点合計上位の内、資料8に示す通過者数を一次審査通過者として選定
- ・ 審査委員会から一次審査通過者の応募者名を区長へ報告

以上